

会 議 録

会 議 の 名 称	平成19年度 第2回 岩城地域協議会
開 催 日 時	平成19年11月21日(水) 午後1時30分
開 催 場 所	岩城会館
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
【会議次第】 1. 開 会 2. あいさつ（協議会会長） 3. 協議事項 (1)平成19年度主要事業進捗状況と平成20年度主要事業計画について(総合支所長) (2)公立保育園の指定管理制度導入について(福祉保健課長) (3)岩城コミュニティバスについて(主幹兼振興課長) (4)由利本荘市さくらマップ・紅葉マップについて(振興課課長補佐) 4. その他 ◆由利本荘市の財政状況等について(佐々木理事) 5. 閉 会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

◆出席者名簿

〔委員:22名、他17名〕

(敬称略)

会 長	前川 侔	委 員	早川あけみ	理事	佐々木永吉
副会長	今野次男	委 員	堀井ヤス子	総合支所長	渡部専一
委 員	長谷部鋼次	委 員	須田まり子	主幹兼振興課長	渡部進
委 員	三船丸男	委 員	奈良禎子	主幹兼保育園長	鈴木憲
委 員	堀井盛男			市民課長	佐々木了三
委 員	進藤三男			福祉保健課長	小川弘
委 員	佐々木力ネヨ			産業課長	伊藤尚武
委 員	今野清子			建設課長	渡部 昭
委 員	進藤敏和			教育事務所長	斎藤忠廣
委 員	金森巳嗣			生涯学習課長	堀井幸二
委 員	高野弘美			亀田出張所長	佐藤利一
委 員	伊藤修二			事務局	佐々木直樹
委 員	佐々木稔子			事務局	大竹 晃
委 員	阿部一雄			事務局	尾留川真由美
委 員	中村慶一			事務局	高山淳一
委 員	佐々木由美子			事務局	村上大輔
委 員	今野房夫			事務局	堀川勝栄
委 員	今野正樹				

【欠席者】 進藤貢委員、高野啓二委員、竹内善治郎委員、渡部秋美委員、船木敬子委員、三浦稔委員
川上淳子委員

会議の経過

平成19年度 第2回 岩城地域協議会

平成19年11月21日(水)

午後1時30分 開会

◇会長あいさつ

◇会長

これより協議に入ります。まず、協議事項(1)の平成19年度主要事業進捗状況と平成20年度主要事業計画について、渡部総合支所長より説明願います。

●渡部総合支所長より下記の事項について説明

①平成19年度主要事業進捗状況

②平成20年度主要事業計画

●引き続き、農業関係の事業について伊藤産業課長が説明

◇会長

ただいまの総合支所長と産業課長の説明を通して、委員の皆様よりご質問・ご意見ありませんか。

○A委員

支所長の説明で、懸念されていた花火大会は継続するものと受け取ったが良いのか。そうであればホッとした。が、花火大会に代表されるように、合併協議の際に盛り込まれた事項が済崩的にいつの間にか廃止とか縮小の方向になっているように思えて、先行きが危惧される。合併協議の際に今後の協議事項、すり合わせ事項とされたものの進捗状況はどのようになっているのか？

●渡部総合支所長

20年度あたりから、実質的なすり合わせ作業が盛んに行われることになるだろうと考えている。花火大会は観光協会が主体となって実施する形となっているが、協会の中では21年度から一本化という方向で進められているようである。会場は未定である。

○A委員

地域住民としては合併する前と比較して改悪の方向には進めて欲しくないと願っているわけで・・・。

○B委員

20年度主要事業計画にあった亀田簡水の統合は寝耳に水の話である。地域住民には何の話もなされないまま唐突に出されたという感である。南沢簡水は、それまでの蛇田と黒川の2系統では効率が悪いということで統合した経緯があり、その際には松ヶ崎も合わせての統合も協議されたが、その当時は行政区画が違うのでダメだということになった。亀田簡水で一本化ということは、末端を結んで、亀

田の水量が不足したら南沢の水を回すということになるのだろう。そんなことをして、南沢の水が不足する、農業用水が不足することになったらどうするのか。そんなことは容認できない。南沢の水量は確保するとの一筆を入れてもらいたい。

●渡部総合支所長

法律改正で10 km以内の簡水については統合しないと事業を行う際に補助対象とならないとされたことによる、言わば経営統合であり、それぞれの簡水の形態は現状のとおりである。

○B委員

経営上の名称統合であって、形態が変わらないのであれば解った。

○B委員

道川小学校の雨漏り対策はきちんとやってもらいたい。

公共料金等の値上げについては簡単にやってはならないと合併協議会の場でも繰り返し言ってきたし、何度も協議してきたことだが、最近は頭越して値上げ決定とされることが多くなってきた。もっと他にタレ流し的に金が使われていることが多い。そういったものを洗い出しもしないで公共料金等を値上げするということは許されない。地域協議会も市からの一方通行になりつつある。もっと、地域協議会での意見を、地域住民の声を大きく取り上げて反映してもらいたい。思いやりのある市政を行ってほしい。善政をしいてもらいたい。とてもじゃないが、こんな由利本荘市では暮らしたくないというようなことにならないよう、肝に命じ、心してやってもらいたい。

●佐々木理事

雨漏りの件については、今聞いたもので状況を理解していないので確認する。ただ今のB委員のご意見は肝に命じ、心して市政に臨みたい。

○C委員

中学生の海外研修はどうなったのか？他の地域では行っているようだが、岩城中ではやっていないのか？(参加していないのか？)

●渡部総合支所長

岩城中からも参加している。(1人だったか)

○B委員

本荘の規模の大きい学校は2名、他は1名、計20名くらいで実施しているはず。岩城中からも1名参加しているが、岩城町当時のミネソタ訪問のようなことは出来ない。岩城は海外研修の先進地なのだから2名くらい何とかならないものかという声がある。

○C委員

行ったのなら広報で紹介する時に岩城中の生徒も載せて欲しい。(載っていなかったのが岩城中からは参加していないと思った) 小さな学校の子どもたちにも夢を与えてもらいたいということを言いたい。

OB委員

合併協議の際に、合併後にすり合わせが必要とされた事項が60～70くらいあったはず。そのすり合わせ協議の場に支所長が出席して岩城の意見というものを反映させているのか？支所長や担当課長がその場に居たと言うのなら、公共料金の値上げ等の決定に賛成した(呑んだ)ということか？

●渡部総合支所長

地域の実情、住民の声は伝えているつもりだ。ただし、それが全て通るということではない。

OB委員

「こうこういう理由で値上げせざるを得ない」ということはもちろんあるだろう。だが、一例をあげるとゴミ袋の有料化についても値上げた上に袋は弱いし使いづらい。“高かろう悪かろう”になっている。値上げしたらただけイイものにすれば良いではないか。(市民から選ばれた委員が協議して作り上げたのだろうが、実際に使ってみてダメだったら改良すればイイではないか？)

◇会長

まだまだご意見はあろうと思いますが、4. その他の際にまたお話いただきたい。これにてこの件についての協議を終了とします。それでは続いて(2)公立保育園の指定管理制度導入について福祉保健課長に説明願います。

●(2)公立保育園の指定管理制度導入について小川福祉保健課長が説明

◇会長

ただいまの福祉保健課長の説明について、委員の皆様よりご質問・ご意見ありませんか。

OD委員

今のまま公営と指定管理制度では、どれくらい効率的なのか？試算されたものがあると思うが。また地元説明会での反応はいかがなものか？

●小川福祉保健課長

亀田保育園は年間2,800万円程度の経費だが、民営化されれば、特に人件費がパートの採用などにより削減されるものとする。地元説明会では民営化すること自体には特に異論は出なかったが、保護者の声を聴きながら進めてもらいたいとのことであった。民営化すると例えば事業一つするにしても公営だと決裁に時間を要するものが、いちいち伺いをたてずに園長の決定で済むことも多くなると考えられるので、そういった面でのメリットもある。

OD委員

民営化は財政面での削減、効率化のためだけにやるというように思える。民営化することで保育の充実が図られるという観点での理解を得られての民営化でなければならない。(亀田保育園と道川保育園の現状比較なども提示すべきである)

○A委員

保育レベルの低下を招かないような形での民営化でなければならない。保護者としては今の保育士さんの体制のもとで今と同じような保育を受けたいと願っている。財政削減のためとは言ってもそのために保育士さんが低下してはならない。保育レベルと経費削減のバランスをとり、保護者の理解を得られる民営化としてもらいたい。

●鈴木亀田保育園長

保護者からは協議の場に利用者(保護者)も立ち合わせて欲しいとの声があり(公募＝業者選定の際にも)、関係部署に要望している。

◇会長

この件については、これで協議を終了といたします。続いて(3)岩城コミュニティバスについて、事務局に説明していただきます。

●渡部主幹兼振興課長が、(3)岩城コミュニティバスについて説明

※運行実績と今後の見通し、マイタウンバス補助金、運賃改定(100円→200円)等について説明

○A委員

率直に言って、200円にしないとペイしない、やっていけないということか？

●渡部主幹兼振興課長

200円にしてもペイはしない。

○A委員

何でもかんでも値上げでは弱者の人たちはやっていけなくなる。一番弱い人たちや高齢者が使うアシなのだから100円を維持してもらいたいというのが住民の正直な声であると思う。先ほど、阿部委員が話されたように、他のもっと先に見直すべきものを見直してもそれでもやっていけないというのであればその際は致し方ないと思うが…。

●渡部主幹兼振興課長

言われることはごもっとも、改善すべきことはしなくてはならないが、この件についてはこのままでは県の補助金を受けられなくなるので、運行を維持していく為とご理解いただきたい。

○B委員

地域格差の拡大＝県の補助条件は弱い地域を切り捨てる、採算の取れないものは切り捨てるという意味合いのものである。これでは合併のスケールメリットなど全く見えてこない。どこに行ってしまったのか。弱い地域に生まれた者は切り捨てられる→限界集落→格差が広がる一方ならいくら生まれ育った地であっても住みたくなくなる。(同じように税金を払っても、享受できるサービスは格段に落ちるとなれば)合併して良かったというサービスを提供するよう考えてもらいたい。

●佐々木理事

県からは「わずか100円の運賃で運営できるのか？由利本荘市はそれだけ余裕があるの？」という類のことまで言われたやに聞いている。今のご意見は財政当局の方にも伝える。

○B委員

そんなのは地域格差どころか人間格差である。県の職員がそんな言い方をして良いのか。そのような考え方で弱者切り捨てを行うつもりなのならば税金は取るな！と言いたい。自分たちでやる！

○D委員

市民が市の財政状況が厳しいということを現実のものとして理解出来ないでいる。それはまだまだムダ使いが見えるということでもある。こういう場ではもっと市の指針なり、データなりをきちんと示して話し合いに臨んでもらいたい。

○E委員

羽後交通の路線バスは国道沿いに運行されている。内道川や二古の旧国道を経由するルートになるともっと利用する人が増えると思うのだが・・・国道沿いのバス停まで行くのが容易でないと言う人もい。採算のこともあるだろうが、何かの機会に要望してもらいたい。

◇会長

この件については、これで協議を終了といたします。続いて(4)由利本荘市さくらマップ・紅葉マップについて、事務局に説明していただきます。

●大竹振興課課長補佐が(4)由利本荘市さくらマップ・紅葉マップの進捗状況等について説明

※会長が意見を求めたが、特に無しの発言もあり、説明内容を了承。

◇会長

この件については、これで協議を終了といたします。続いて4. その他ですが、冒頭でもご紹介申し上げましたが、本会には本庁より佐々木理事さんにおこしいただいておりますので、由利本荘市の財政状況等を交えながらお話しいただきます。

●佐々木理事が、由利本荘市の財政状況等について説明

◇会長

佐々木理事さんに由利本荘市の財政状況について説明いただきましたが、これに関してのご意見・ご質問はありませんか。併せて、本会で取り上げていただきたい事項等がありましたらご発言ください。

OD委員

合併してから今日まで、第三セクターの貸借対照表と損益計算書を公表しなければならないことになっているのになぜこれまで示さなかったのか？（一般市民に公表するということは市の広報に掲載することだと思うのだが）旧岩城町では毎年きちんと公表していた。三セクの運営実態はかなり厳しいところがあると聞き及んでいる。もし、経営破たんすればそれは即市民の負担増につながるのだから、三セクの経営状況などはきちんと示して、財政状況が厳しいということをきちんと示して市民に理解を求めるべきである。

●佐々木理事

第三セクターの経営状況の報告義務について調べ、然るべき対処を考えたい。

OD委員

道川小の雨漏りなんていつからの話か？春にも申し上げたはずである。判らなかつたでは済まない、教育行政の在り方を疑う。小学校が何箇所も雨漏りしているなんて恥ずかしくないか。

●渡部総合支所長

何度も財政当局とは協議してきたが、全体を修繕するには多額を要するため、厳しい財政状況の中では話が進まなかった。緊急性の高いものから個別に検討しながら、現実的な何らかの形での対応を検討している。

●佐々木理事

持ち帰り、すぐに財政当局にも伝える。

OD委員

資料を見ると維持補修費がかなりの減額となっているが、早め早めの補修が結果的には長く使用出来ることになる。施設の損傷は市民生活に直結する問題である。昨今、燃料費が著しく値上がりしているが値上がりが燃料費の実質的な削減につながるなんてことはないか。保育園の燃料費が実質削減になって子どもたちがカゼをひくなどというような事態には絶対ならないようにしてもらいたい。（各総合支所だって、合併して職員の数が減っているのだからあれだけ大きな建物全体を暖める必要がないかもしれないし、そういったところでの工夫・減量も出来るだろう）

OB委員

財政シュミレーションでは、由利本荘市の人口規模における標準財政規模 270 億円くらいに対して約2 倍の 500 億円強の現在の財政を 10 年後には 400 億円程度まで削減するとなっているが可能なのか？

●佐々木理事

例えば人件費などは 60 名くらいの定年退職者数に対して 20 名くらいの採用に抑えることによって、12 億円くらいは削減になると試算されている。出来るとこの場で明言は出来ないが、まず、400 億円規模程度まで削減できるシュミレーションになっているようである。

○A委員

ONTの市議会の実況中継を見ている、市長の肉声が感情のこもった答弁に聞こえてこない。議員の議論も然り。熱意ある議論に聞こえてこない。一般市民にとって広報紙面では熱意はなかなか伝わらないので、唯一伝わる手段が実況中継ではないかと思う。まだ全域には広がってはいないが、生の熱意の伝わるような発言、議論を市長、議員に求めたい。岩城町の議会での議論はあんなものではなかった。是非とも市長に伝えていただきたい。

○B委員

事前通告制が徹底して、その場での質問が出来ないようだ。見ている方からすると他所事に見える。岩城では再質問、再々質問まで無制限で徹底的にやりとりした。議会の持ち方にも問題がある。特に総括質疑がないからとおり一辺倒で終わってしまう。

○F委員

学童保育は今まで岩城は無料だったが、有料化が検討されているとのこと。私も子ども見守り隊などの関係で週何回か学童センターに行くが、私が見る限り、現場で子どもたちは特別経費がかかるようなことをしているわけではないのに、それを有料化するという。その根拠は？

●渡部総合支所長

特定の方が利用するものについては受益者負担を伴うというのが原則であり、現在は有料・無料が半分ずつというものを有料で統一して、その分、開設時間を長くするなどより安心して預けられる体制づくりなどを検討している。

○B委員

一時が万事このとおりである。無料に合わせるということは絶対でない。住民負担だけが多くなるという状況＝何のための合併だったのか？ということになる。行政の工夫というものは無いのか？この地域のみんなが永々と続け、営んできた、築き上げてきた努力を全て取り上げてしまうのか？消し去ってしまうのか？各地域住民が皆希望を持って努力する市政を展開してもらいたい。

○D委員

資料は事前に配布するようにしてもらいたい。(※協議事項については事前に示しているが)

●事務局より、次回以降の開催日程について連絡

◇会長

以上をもちまして平成19年度第2回地域協議会を閉会します。

閉会 午後4時30分

